

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名まで2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		児童が視覚的にもわかりやすいような環境作りを心掛けております。児童が移動する際には職員が一緒に行動して、安全に配慮しています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		児童の活動に合わせた空間づくりをおこない、毎日、清掃と教材や玩具の消毒、故障箇所がないか確認をしながらおこなっております。また、大きな物や高さのある物を教室内に置かないようにしております。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		児童の様子に合わせて安心して過ごせる環境を整え、安全に配慮した空間を確保しております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返りに）、広く職員が参画しているか。	8		その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡と、児童発達支援管理責任者を中心に教育内容の確認などの話し合いの場を設けております。また、定期的に会議を実施し、支援の改善点、療育の計画など職員が情報を共有できるように努めております。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		評価表を集計し、職員全体で向き合い、振り返りをおこなうことで業務改善につなげています。評価にあるご意見やご要望などについては、どう改善していくかを職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしております。	評価表を集計し、職員全体で向き合い、振り返りをおこなうことで業務改善につなげています。評価にあるご意見やご要望などについては、どう改善していくかを職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日のミーティングで確認をおこない、当日の担当や一日の流れ、役割分担について確認しております。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		年間計画を立て、計画に沿って定期的な研修を実施し、資質向上の機会を確保しております。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公式Webサイトにて公表しております。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		面談では社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用して、児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解などを細かくヒアリングし、保護者様のご要望を反映させながら放課後等デイサービス支援計画を作成しています。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		保護者様からうかがった内容や事業所での様子をもとに、児童発達支援管理責任者が作成した計画書を職員間で情報共有し、全職員で話し合っておこなっています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		計画に沿った支援がおこなえるように会議で活動の内容を決定し、全ての職員で情報共有して、支援計画に基づく支援をおこなっています。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用しています。ツールには児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解などを細かく記載できるようになっております。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、都度見直しをおこなっています。また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		個別支援会議の中で意見交換をおこない、療育で取り組む課題を設定して計画を立てています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		固定プログラムのほか、季節の行事等を工夫して、個別と集団を組み合わせた活動を楽しくおこなえるようにしております。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別療育で言葉の獲得や、気持ちの伝え方等個々の課題の学びの場を持つようにし、集団活動の中でそれを活かして表現できるように見守っています。また職員が関わりの仲介に入って個別と集団を組み合わせられる工夫を随時おこなっております。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日ミーティングをおこない、当日の担当や役割分担について対応を確認し、情報を共有しております。		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		次の支援のために必要な振り返りに漏れないように「児童について」「保護者様について」「学校連携について」等、情報共有に努めています。		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援に対する記録は療育の担当者が必ずおこない、切れ目のない継続的な支援に役立てています。記録は個別支援計画会議などでも活用し、職員で話し合っておこなっています。		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		定期的にモニタリングをおこない、計画の見直しの必要性を判断しています。児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しの時期を把握し、時期に合わせて、面談で聞き取りをおこない、次回の目標設定を検討しております。		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせながら支援を行っているか。	8		個別療育で言葉の獲得や、気持ちの伝え方等個々の課題に取り組んでおります。小集団の活動ではそれを活かして表現できるように見守っております。また、職員が関わりの仲介に入って個別と集団を組み合わせられる工夫を随時おこなっております。		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育てるための支援を行っているか。	8		児童が自己選択できるような支援の工夫をおこない、自己決定をする力を育てるための支援に日々取り組んでおります。児童の興味関心が膨らみ、ゆとりとした雰囲気の中で自己選択できる力が育つように、環境づくりの配慮に努めております。児童が常に主体であることを大切にしております。		
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		対象児童について職員間で話し合い、児童発達支援管理責任者が中心となり、担当者会議など関係機関との連携をしています。		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		現在は医療的ケアが必要な児童は在籍しておりませんが主治医との連携はありますが、協力医療機関や障害福祉、保健、教育等の関係機関との連携はケース会議及び家族支援等によりおこなっています。	引き続き、個人情報に留意しながら関係機関と連携してまいります。情報共有、共通理解に努め、丁寧に時間をかけた支援をおこなってまいります。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		保護者様を通して学校と連携し、相互理解を持つように努めています。		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		保護者様を通して学校と連携し、相互理解を持つように努めています。		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0		関係機関が集まり担当者会議をおこない、スムーズに移行できるように努めております。	地域の協議会は参加しておりますが、地域との情報共有や連携をとるために、より積極的に参加を検討してまいります。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8		児童の療育に際して必要に応じて、地域の事業所（療育センター）と連携し、助言を受けるなどしています。	必要に応じた助言等をいただけるように、ZOOM研修等も活用しながら、より円滑なコミュニケーションを目指してまいります。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	殆どの児童は小学校や学童などで、個々外部との交流はできています。感染症や社会情勢を鑑みながら検討をしておりますが、事業所主催の交流の機会は企画できておりません。	現在は交流の機会を設けておりませんが、今後検討してまいります。	
	33 「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	8		地域の協議会は参加しておりますが、地域との情報共有や連携をとるために、より積極的に参加を検討してまいります。		
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		ご利用の度に、連絡帳に療育内容を記入してお伝えしています。また、送迎時に保護者様からのお悩みをお聞きしたり、事業所での様子や課題についてお話をしています。		
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		送迎の際に保護者様とお悩みやお困りことをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをお伝えするように努めています。また療育上必要でご家庭での協力が仰ぐものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。		
	保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めています。また、質問やご不明な点がないかなどを確認しながら進めています。	
		37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		個別支援計画の作成時には保護者様とアセスメントをおこない、ご意向の確認やお困りことについてお話をうかがっております。また児童には、療育中に自分の夢や希望が話せるような場の環境を設定しております。	
		38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の意向を得ているか。	8		モニタリングをおこない、ガイドラインが示す支援内容を踏まえた支援計画を作成し、保護者様と読み合わせ、丁寧に説明をおこなったうえで同意を得て、サイン、捺印をいただいております。	
		39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		連絡帳や来所時にご相談があった際には、児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で共有し、送迎時や連絡帳のお悩み、解決だけ面談をおこない、保護者様のお悩みを的確に解決に向けて尽力しております。	
		40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	
41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		8		こちらからもお声掛けをおこない、保護者様からのご意見や申し入れがあった場合は適切に対応しております。また担当者や連絡が取りやすいように配慮し、ご意見は全職員と情報共有し、迅速な対応を心掛けております。		
42 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		8		毎月事業所カレンダーを配布しています。またCOMPASS発達支援センターの公式WebサイトやSNSで情報発信しています。		
43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		8		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。		
44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		8		児童独自の意思表示法などについては保護者様に教えていただき、確認しております。また、聴覚で分かりやすい声掛けや言葉だけでなく、身振りなどの視覚的支援を通して意思の疎通ができるよう心がけています。		
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		8		地域との情報共有や連携をとるために、検討してまいります。		
非常時等の対応		46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各マニュアルは事業所入り口に設置し、いつでも閲覧できるようにしております。防災訓練は今年度4回実施予定です。	
		47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		BCPを策定し、計画に合わせた訓練や非常時避難用の道具（安全ヘルメット、防災頭巾、99カード他）などの備品チェックをおこなっております。また定期的に非常時を想定した話し合いや避難訓練の実施をおこなっております。	
		48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	8		アセスメントの際に必ず確認し、一覧表を作成して全職員で周知しています。	
		49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		アレルギー対策を徹底したうえで食事介助をおこなっております。	
		50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、定期的な点検をおこない、全職員が安全管理に必要な研修や訓練をおこなっております。事業所には安全ヘルメットや防災頭巾等常備しております。	
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		各種マニュアルは壁面に掲示し、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしています。また、避難訓練は年間計画を立てて定期的に実施しており、児童も参加し、訓練の状況は連絡帳のカレンダーを通じてご紹介しております。		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	8		大きな事故を未然に防ぐという共通目的を意識し、小さなことでも気づいた点は記録に残して全職員共有しています。記録はファイルリングし、過去の事例と合わせていつでも確認できるようにしています。		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		事業所に虐待防止責任者を選定し、すべての職員が事業所内研修に参加し、認識を深めております。		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載しておりますが、やむを得ず必要となる場合には、事前に十分な説明をおこない、保護者様の承諾を得たうえで支援計画に記載し、適切に対応しております。		

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体でおこなった自己評価です。